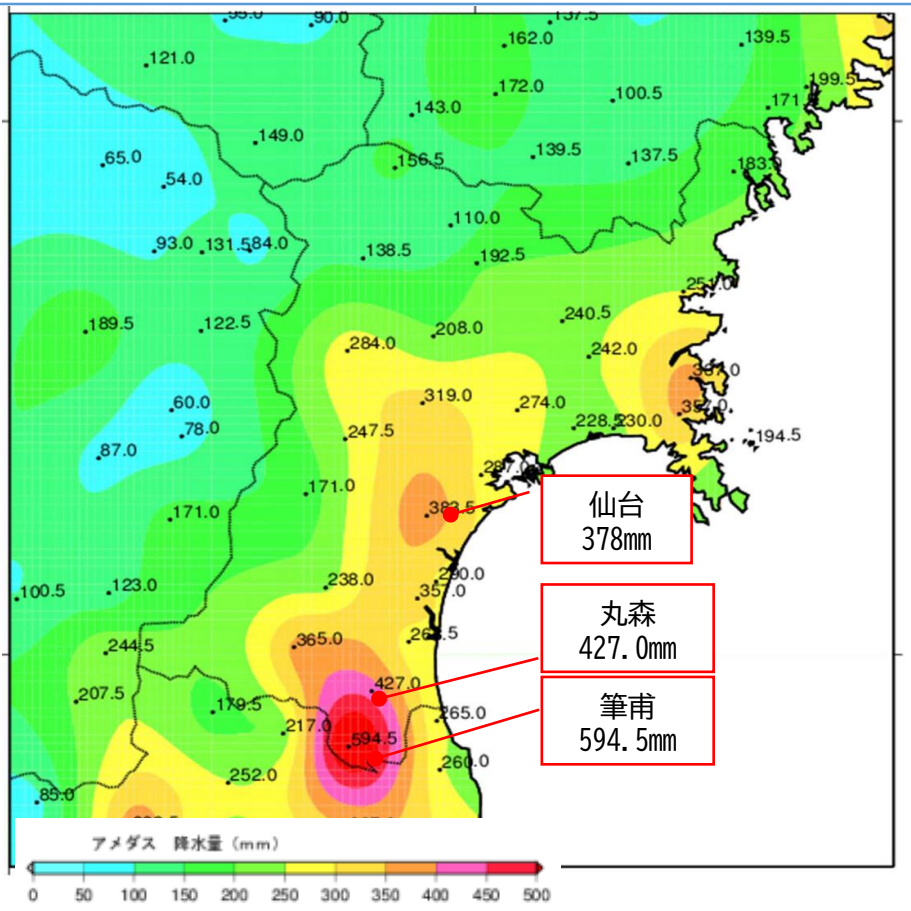
令和元年東日本台風による被害概要と復旧・復興の状況

令和５年３月
宮城県丸森町

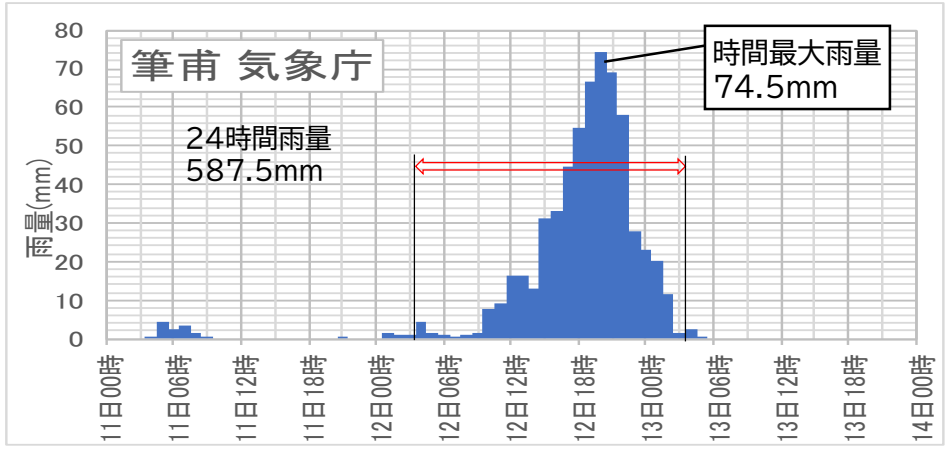
宮城県伊具郡丸森町字鳥屋１２０番地
電話　0224-72-2111（代表）
ＨＰ　http://www.town.marumori.miyagi.jp

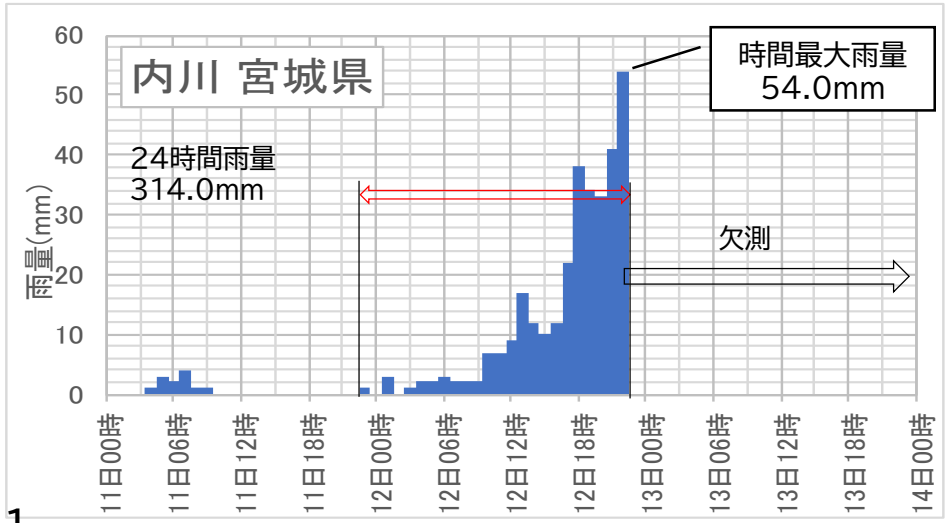
1　降雨量と河川の水位

■ 令和元年10月12日昼から台風19号により，仙南，仙台，大崎地域を中心に大雨となり，河川の増水や浸水，土砂崩れが発生した。
■ 降り始めからの総降水量は，仙台（仙台市）で383.5mm，丸森（丸森町）では，427.0mmを観測し，10月1ヶ月分の平均値の2～3倍の雨量となった。特に，**筆甫（丸森町）では，594.5mmとなり，既往最大の豪雨を観測**。
■ 気象庁は**10月12日19時50分に宮城県に大雨特別警報を発令**した。



図：10月11日15時から13日9時までの総降水量
（単位:mm）





出典：仙台管区気象台資料　宮城県資料

1　降雨量と河川の水位

町内観測所
位　置　図

雨量観測所
水位観測所



町内６箇所の雨量観測所の全てで過去最大の雨量を観測し、大内観測所では、最も多い総雨量612mmを観測しました。

河川の最高水位は、阿武隈川で降り始めから8.56m上昇し23.44m、雑子尾川で降り始めから6.74m上昇し7.11mを記録しました。県が管理する内川、新川及び五福谷川では計18箇所が決壊し、各地で被害が発生しました。

1　降雨量と河川の水位

（1）降雨量（10/12～13）

観測所	総雨量	最大時間雨量	観測時間
丸森	427ｍｍ	60ｍｍ	10/12　23：00
内川	314ｍｍ	54ｍｍ	10/12　22：00
笠松	560ｍｍ	78ｍｍ	10/12　22：00
筆甫	594ｍｍ	74ｍｍ	10/12　20：00
大内	612ｍｍ	77ｍｍ	10/12　22：00
大張	481ｍｍ	55ｍｍ	10/12　22：00

（2）河川の水位

河川名	観測所	最高水位	氾濫危険水位	河川の状況
阿武隈川	丸森	23.44ｍ	22.30ｍ	危険水位＋1.14ｍ
内川	内川	9.84ｍ	-	堤防決壊
雉子尾川	山居	7.11ｍ	-	越水発生

河川の氾濫被害



阿武隈川（小斎地区）



内川（丸森地区）
氾濫による被害



新川（丸森地区）



雉子尾川（金山地区）

河川の氾濫被害



丸森地区　上林



丸森地区　上林



筆甫地区　北山



大内地区

2　被害の概要

（１）人的被害

死者	災害関連死	行方不明者	けが人
１０名	１名	１名	２名

丸森地区子安



2　被害の概要

（2）公共土木施設・農林業施設等の被害

２，９０４か所　被害額　**３７６億３，２８４万円**

区分	被害か所数
町道	341か所
河川	338か所
橋梁	3か所
都市施設	1か所
下水道施設等	5か所
農林業施設	2,216か所

（令和4年6月30日現在）



五福谷橋（丸森地区）

被災した町道







2　被害の概要

（３）農作物・農業用機械等の被害

丸森地区竹谷農地



小斎地区農業用倉庫



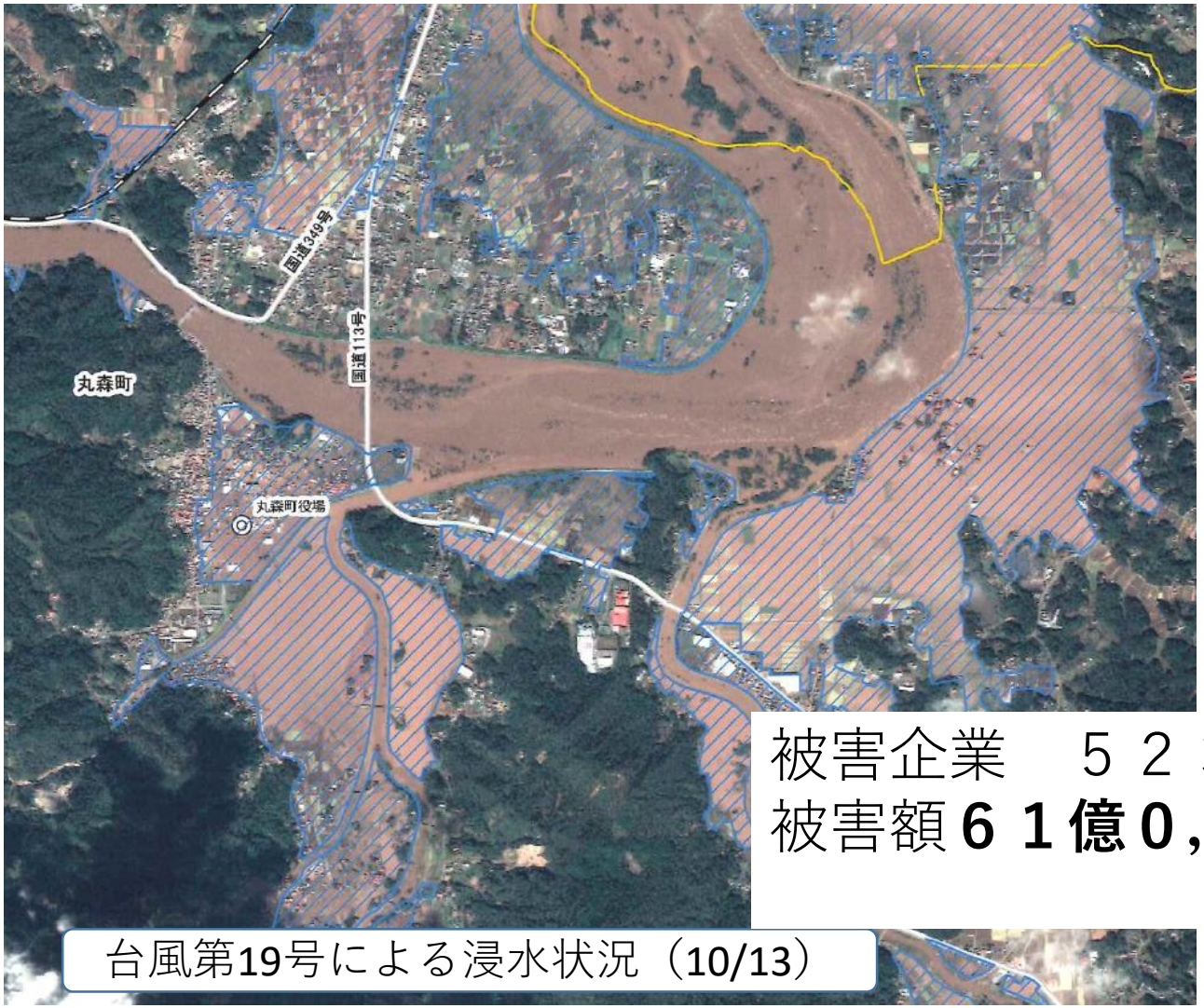
被害面積　３６４ｈａ

被害額**１１億４，５４４万円**

（令和4年6月30日現在）

2　被害の概要

（４）商工業被害　浸水及び断水等の影響



台風第19号による浸水状況（10/13）

被害企業　５２３社

被害額**６１億０，０５７万円**

2　被害の概要

（５）河川の決壊（県管理）



内川　　１０か所
新川　　４か所
五福谷川　４か所



2　被害の概要

（6）住宅被害

床上　９０８世帯　床下　３１６世帯



役場庁舎周辺



金山地区



小斎地区

2　被害の概要

（7）家屋調査の状況（令和4年6月30日現在）

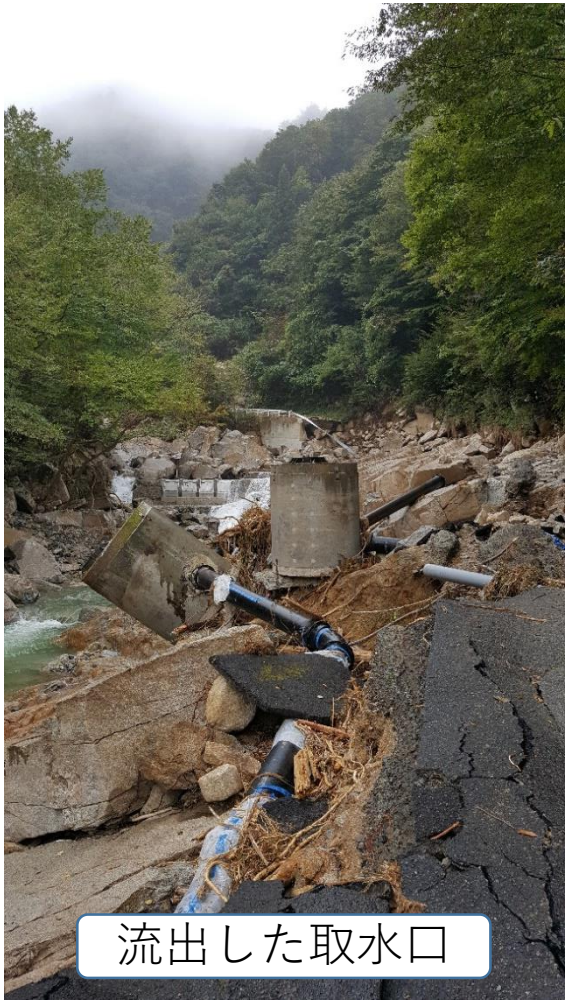
・全　壊　　１１５戸
・大規模半壊　　２４８戸
・半　壊　　６３３戸
・準半壊　　１４戸
・一部損壊　　３３２戸
　合　計　　１，３４２戸

丸森地区　五福谷



2　被害の概要

（８）断水


流出した取水口

上水道施設の取水口の被害及び一部停電の影響により、町内全域（３，４００戸以上）で令和元年１０月１３日から断水。

１１月１日に仮復旧

取水口の仮復旧





2　被害の概要

（９）避難所の設置　１４か所　避難者数　５４５人

※2020/10/25（最大）

丸森小学校





町内にプレハブ応急仮設住宅が完成し、令和元年12月29日にすべての避難所を閉鎖。

3　災害復旧・復興への課題

（1）財政的な課題

令和元年東日本台風による被害は甚大なものがあり、激甚災害の指定や災害救助法に基づく財政支援の対象とならない復旧経費も膨大になることが見込まれます。

◎　本町の標準財政規模（Ｈ３０年度）　５１億３，６９５万円
◎　財政力指数　０．２９７

◎　令和元年度における当初予算の額　８９億９，４００万円
◎　最終予算額　２６８億１，００２万円
※約３倍に増額

被害総額は**４７２億８，１６４万円**にのぼっており、各種補助事業等を活用した復旧及び復興に迅速に取り組むためにも、一般財源の確保が急務となっています。

3　災害復旧・復興への課題

（2）人的な支援

　発災後、国・県・他市町村から支援を受け、被害状況の調査等を進めてきましたが、現在も災害復旧及び復興にかかる専門的人材の確保は重要な課題となっています。（令和４年４月１日現在の派遣職員数:１１人）

　今後、復旧工事の発注及び進捗管理等を行っていく必要がありますが、特に専門的な知識を有した技術職員等は、短期的・中長期的に多くの人員が不足する見込みであることから、国・県・他市町村・民間企業等から派遣いただけるようお願いしている状況です。



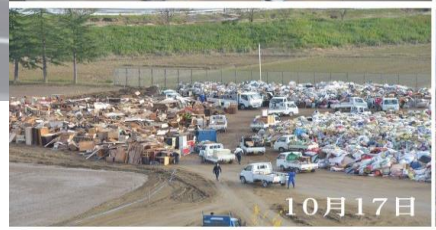


4　災害復旧・復興の状況

（1）役場前の変遷



令和2年6月12日撮影













4　災害復旧・復興の状況

（2）役場の体制

発災前

※職員数は、町長、副町長、教育長を除く。

職員数２２９人
（2019.9.16）

発災後(R2)

職員数２７１人
（2020.4.1）

うち新規採用職員１２人
派遣職員１７人

R3年度

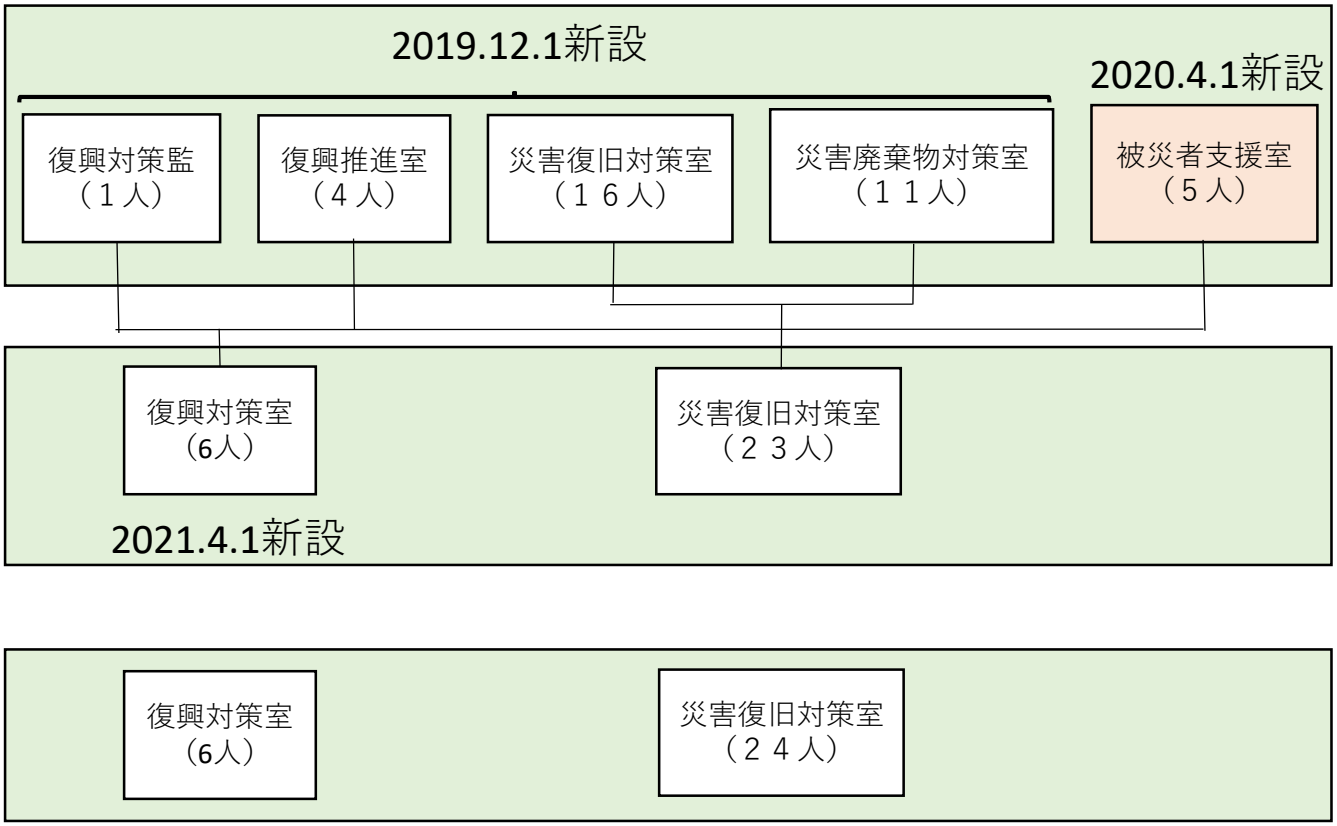
職員数２６８人
（2021.4.1）

うち新規採用職員１０人
派遣職員１３人

R4年度

職員数２６４人
（2022.4.1）

うち新規採用職員　９人
派遣職員　１１人



※人数は2022.4.1時点

4　災害復旧・復興の状況

（3）プレハブ仮設住宅の建設状況　６団地　２０８戸



※金山仮設団地は全入居者が退去したことに伴い解体・撤去済

団地名	建設戸数	入居開始日	入居世帯	
			世帯数	入居者数
①花田仮設団地	68	R1.12.21	25	32
②金山仮設団地	29	R1.12.24	0	0
③寺内仮設団地	60	R1.12.21	23	41
④町西仮設団地	24	R1.12.23	7	15
⑤和田仮設団地	12	R1.12.26	2	4
⑥大舘仮設団地	15	R1.12.26	9	12
	208		66	104

※R5.2.28時点

①県がプレハブ建築協会へ業者斡旋を要請
②斡旋された業者が建設
③県と斡旋業者がリース契約を締結
④町と入居者が使用貸借契約を締結
◇入居者の家賃負担はない。

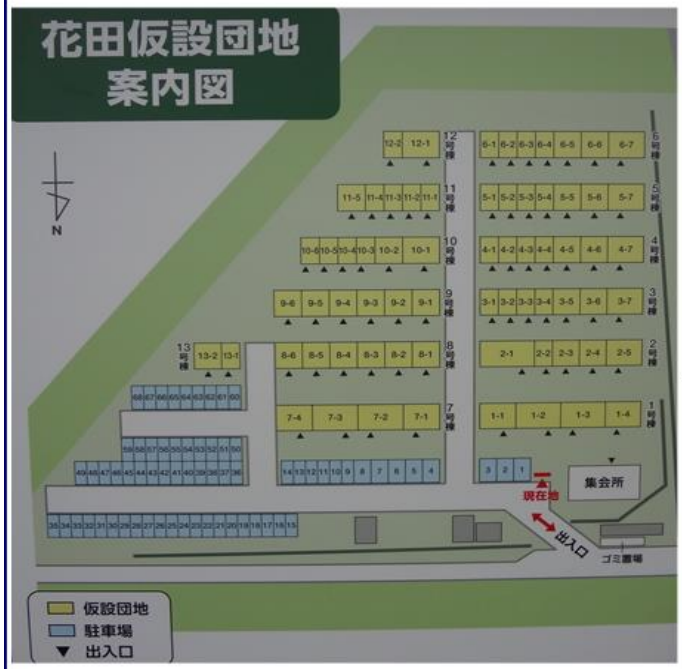
※仮設住宅の供給は災害救助法に基づいており、建設等の財源は全額災害救助費（国庫）となる。

4　災害復旧・復興の状況

（4）花田仮設団地の例

宮城県土木部住宅課提供資料

県名	宮城県	市町村	丸森町	団地名	花田仮設団地	住所	丸森町字花田104-1ほか	メーカー名	郡リース（株）	引渡日	12月20日	戸数	68戸



















4　災害復旧・復興の状況

（5）復旧・復興計画の策定

復旧・復興基本方針　令和元年12月17日策定

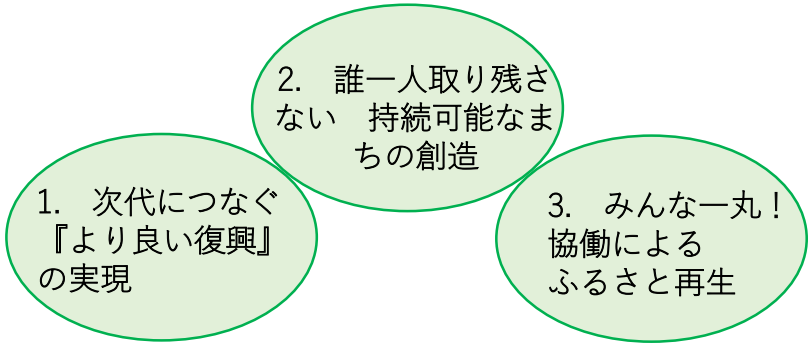
1 位置づけ

◇「丸森町復旧・復興基本方針」は、台風第１９号被害から、本町がどのように復旧・　復興に取り組んでいくかという基本的なビジョンや理念を示すものです。

2 復興ビジョン

共に立ち上がろう
次代につなぐ新たな丸森（まち）づくり

3 基本理念



復旧・復興計画　令和2年6月17日策定

1 策定の経緯

◇計画の策定に当たっては、まちづくり懇談会や住民意向調査、さらにはパブリックコメント等で寄せられた町民の皆様からの意向をはじめ、町内各地区の住民や専門的な知見を有する学識経験者などで構成する「丸森町復興推進委員会」での意見等を反映しながら策定しました。

2 基本施策

1．　安らぎのある暮らしの再建
2．　災害に強く魅力あふれるまちの創造
3．　活気あふれる産業・なりわいの再建

3 重点プロジェクト

1．　町産材を活用した災害公営住宅整備・町営住宅再建
2．　安全・安心の拠点形成
3．　「儲ける農業」創造

○丸森町復旧・復興計画の策定経緯

開催年月		策定体制		議会	町民参画
		復興推進本部会議 ※町長、副町長以下、町の幹部職員で構成	復興推進委員会 ※町民及び学識経験者等で構成		
令和元年度	１０月				
	１１月				
	１２月	【第1回】12月2日 【第2回】12月6日 【第3回】12月17日		12月18日　議員全員協議会	
		復旧・復興基本方針の決定			
		【第4回】12月27日	（設置）12月25日		
	１月		令和元年度 【第1回】1月24日		◇まちづくり懇談会 【大内】1月16日 【耕野】1月17日 【金山】1月18日 【大張・小斎】1月20日 【筆甫・舘矢間】1月21日 【丸森】1月22日
	２月	【第5回】2月18日	【第2回】2月25日	2月10日　第6回　特別委員会 2月26日　第7回　特別委員会	◇住民意向調査 （2月4日～2月21日）
		復旧・復興計画（素案）			
	３月	【第6回】3月24日	【第3回】3月30日	3月27日　第8回　特別委員会	
		復旧・復興計画（中間案）			

<table>
<tr><td rowspan="3">令和2年度</td><td>4月</td><td>【第7回】4月13日</td><td></td><td>4月27日　第9回　特別委員会</td><td>◇パブリックコメント
（4月1日～4月30日）
◇地区説明会
【金山】4月14日
【筆甫・小斎】4月15日
【大張・舘矢間】4月16日
【耕野】4月17日
【大内・丸森】4月18日
◇住宅再建意向調査
（4月15日～5月1日）</td></tr>
<tr><td>5月</td><td>【第8回】5月19日</td><td>令和2年度
【第1回】5月27日</td><td>5月27日　第10回　特別委員会</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">復旧・復興計画（最終案）</td></tr>
<tr><td>6月</td><td>【第9回】6月17日</td><td></td><td>6月10日　第11回　特別委員会</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">復旧・復興計画の決定</td></tr>
</table>

※特別委員会：令和元年台風第19号災害対策調査特別委員会

4　災害復旧・復興の状況

（6）土砂災害を防ぐための対策事例

国土交通省東北地方整備局提供資料



4　災害復旧・復興の状況

（7）災害公営住宅の建設

①建設戸数　　：５０戸(木造14戸　RC造36戸)
②入居開始予定：木造…令和５年３月(完成済)
　　RC造…令和５年７月

完成イメージ





完成後の様子(木造)



建設工事の様子(RC造)



4　災害復旧・復興の状況

（8）被災した町営住宅の集約・建替

・町営神明住宅
①建設戸数　　：９０戸
　　(木造54戸　RC造36戸)
②入居開始予定：木造
　　令和４年12月～(一部完成)
　　RC造
　　令和５年４月(完成済)

・町営竹谷住宅
①建設戸数　　：２０戸(木造)
②入居開始：令和４年７月～(完成済)



◇被災した町営住宅の内訳

住宅名	管理戸数	入居戸数 (被災戸数)
神明住宅	106	92
鳥屋住宅	15	9
竹谷住宅	21	17
計	142	118

・町営神明住宅

完成イメージ



東側工区24戸完成後の様子（木造）



・町営竹谷住宅

完成後の様子（RC造）



完成後の様子（木造）

